

第1章 安全で安心して暮らせるまち

テーマ	施策
1 防災	1 地域における防災力の向上 (1)災害に対する意識の向上 (2)防災組織の活動支援と担い手の育成 (3)避難行動要支援者への支援
	2 防災体制の確立 (1)危機管理体制の充実・強化 (2)情報収集・伝達体制の充実 (3)災害援助・復旧体制の充実
	3 災害に強いまちづくりの推進 (1)災害に強い都市基盤づくり (2)既存建築物の耐震化
2 防犯	4 地域における防犯まちづくりの促進 (1)市民の防犯意識の向上 (2)防犯組織の活動支援と担い手の育成
	5 防犯体制の充実 (1)防犯組織の体制整備 (2)自転車盗難防止対策の強化 (3)犯罪が起きにくい環境づくり
3 交通安全	6 地域における交通安全活動の促進 (1)市民の交通安全意識の向上 (2)交通安全活動の支援と担い手の育成 (3)放置自転車対策の推進
	7 交通安全推進体制の充実 (1)警察・交通安全関係団体との連携 (2)交通事故が起こりにくい環境の整備
4 消費生活	8 消費生活の安全確保 (1)消費者意識の啓発と学習支援 (2)蕨市消費生活センターなど相談体制の充実
5 消防・救急	9 地域における防火意識の向上 (1)啓発活動の実施と防火管理体制の強化促進
	10 消防体制の充実 (1)常備消防力の強化 (2)消防団などの充実 (3)連携による訓練などの充実
	11 救急体制の充実 (1)救急・救命体制の充実 (2)救命講習会参加の促進

テーマ1

防災

テーマの目標

「自分たちの生命は自分たちで守る」という災害対策の基本に立ち、地域における防災力の向上を図るとともに、危機管理や情報収集・伝達などに関する全庁的・全市的な体制の強化と、災害に強い都市基盤の整備を進め、安心して暮らせる災害に強いまちを目指します。

現況と課題

- 平成23年3月1日に発生した東日本大震災は、わが国に自然の脅威を見せつけ、未曾有の被害を及ぼし、数多くの教訓を残しました。
 蕨市はこれまで、大規模な自然災害の被害を受けたことはありませんが、東日本大震災などの教訓から防災に対する意識が高まっており、平成25年度市民意識調査では、「防災・消防・救急体制」が重点施策の第1位となっています。
- これまで蕨市では、広報蕨や出前講座などによって市民の防災意識の更なる向上を図りながら、地域における防災リーダーの養成や自主防災組織の支援を進めてきました。また、平成23年6月に「蕨市地域防災計画」を改訂し、全庁的・全市的な防災体制の強化に努めるとともに、「蕨市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市有建築物の耐震化を進めているほか、民間住宅などの耐震化の推進に努めています。
- 小さな市域に多くの市民が暮らす蕨市にとって、災害への備えは喫緊の課題といえます。このため今後も、市民の防災意識と地域における防災力の更なる向上を図るとともに、国や県などによる調査や被害想定を踏まえ、必要に応じて「蕨市地域防災計画」を見直し、全庁的・全市的な危機管理体制などの充実を図っていく必要があります。
 特に、市民の高齢化と公共施設の老朽化が進む蕨市では、地域との協働による避難行動要支援者の支援体制の確立と、旧耐震基準の建築物の耐震化が重要となっています。
 また、市内には、緊急車両が進入できず円滑な活動に支障をきたす幅員4m未満の狭隘な道路が多いことや、災害時に防災上有効な空地となる公園などのオープンスペースが不足している地区などがあり、計画的な解消が必要となっています。

協働のまちづくり

- ・自主防災組織や町会などの地域コミュニティ、民生・児童委員、社会福祉法人蕨市社会福祉協議会などとの協働により、地域における防災リーダーの育成や効果的な防災訓練などを展開します。また、避難行動要支援者の支援体制づくりを進めます。

関連計画等

- ・蕨市地域防災計画（平成23年6月改訂）
- ・国民保護に関する蕨市計画（平成23年3月改訂）
- ・蕨市建築物耐震改修促進計画（平成22年度～平成27年度）

施策1 地域における防災力の向上

主な施策展開

1 災害に対する意識の向上

- ①広報蕨や市ホームページなどにより、住宅の耐震化や家具の転倒防止対策などの防災に関する情報提供を積極的に行い、日頃からの備えに対する意識向上を図ります。
- ②学校や地域、事業所などにおける、さまざまな事態を想定した防災訓練や防災学習を支援するとともに、蕨市総合防災演習への参加を促進します。

2 防災組織の活動支援と担い手の育成

- ①自主防災組織をはじめとする、市民の自主的な防災活動を支援するとともに、その担い手の育成に努めます。
- ②地域における防災リーダーを育成するとともに、災害時において地域防災の一助となる中学生との連携を促進します。

3 避難行動要支援者への支援

- ①地域コミュニティや民生・児童委員、蕨市社会福祉協議会などと連携し、避難行動要支援者がどのような支援を必要としているかを把握し、地域全体での支援体制づくりを進めます。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
家庭等における災害への備え実施率(市民意識調査)	85.1%	90%
自主防災組織による防災訓練の実施率	70.3%	100%
自主防災リーダー養成講座の参加者数	5人	450人(累計)
地域防災支援を行う中学生の数(WSS*)	—	23人

主要事業等

総合防災演習事業、自主防災組織育成事業、学校教育推進事業（中学生地域防災支援事業）

施策2 防災体制の確立

主な施策展開

1 危機管理体制の充実・強化

①地震、台風などの自然災害や新型インフルエンザ、武力攻撃などの事態に対応する全庁的・全市的な危機管理体制の充実・強化を図ります。

2 情報収集・伝達体制の充実

①国や県、他市町村や関係機関との情報収集・伝達体制の充実を図ります。
②防災行政無線やJ-A L E R T(全国瞬時警報システム)*、緊急速報メールなどを用いた情報伝達手段の整備に努めます。

3 災害援助・復旧体制の充実

①他市町村や事業者、関係機関との災害協定の拡充などにより、災害救助・復旧体制の充実を図ります。
②BCP(業務継続計画)*を策定し、市役所機能の維持・復旧体制を整備します。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
災害協定の締結数	25	35
危機管理の強化の満足度 (市民意識調査) 5点満点 <small>※平成24年度の平均は3.02</small>	2.86	平均以上

主要事業等 危機管理対策事業、防災施設管理費(防災行政無線等の整備)、防災施設整備事業、災害予防対策事業(災害用備蓄品整備)



栃木県大田原市との災害時相互応援協定調印式



蕨市総合防災演習に参加する中学生(WSS)

施策3 災害に強いまちづくりの推進

主な施策展開

1 災害に強い都市基盤づくり

①市街地整備事業等の都市基盤整備の機会を捉え、オープンスペースの確保や幹線道路の整備などを計画的に進めます。
②市民生活を支えるライフラインの耐震化を促進します。

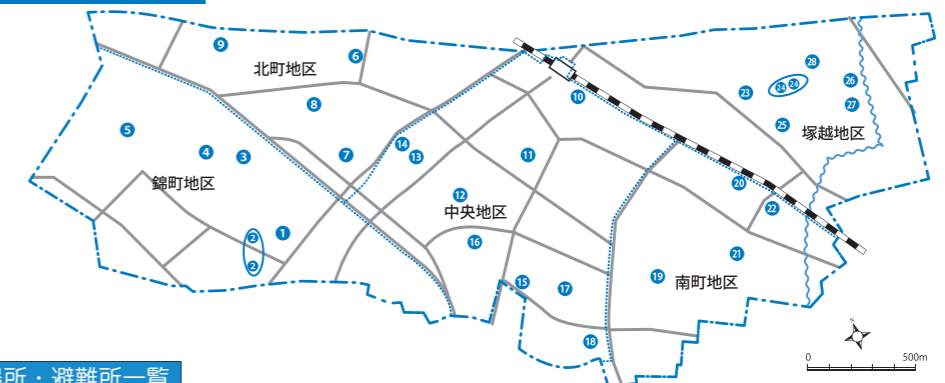
2 既存建築物の耐震化

①市有建築物の耐震化を計画的に進めます。
②耐震診断及び耐震改修の助成などを通じ、民間建築物の耐震化を支援します。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
市有建築物の耐震化率	63%	90%以上
市内住宅の耐震化率	59.5%	90%
簡易耐震診断から一般耐震診断への移行率	17.2%	60%

主要事業等 耐震補強事業、建築指導費(住宅耐震診断及び耐震改修補助金)

避難場所・避難所マップ



市内避難場所・避難所一覧

① 錦町スポーツ広場	⑥ 北町公園	⑬ 城址公園	⑳ 三和公園
② 富士見公園	⑦ 北小学校	⑭ 和樂備神社	㉑ 第一中学校
③ 富士見第2公園	⑧ 三学院	⑮ ふるさと土橋公園	㉒ 東小学校
④ 錦町コミュニティ・センター	⑨ 蕨高等学校	⑯ 中央小学校	㉓ 塚越コミュニティ・センター
⑤ 西公民館	⑩ 旭町公民館	⑰ 中央東小学校	㉔ 東公民館
⑥ 松原会館	⑪ 中央公園	⑱ 下蕨公民館	㉕ 塚越公園
⑦ 第二中学校	⑫ 福祉・児童センター	⑲ 下蕨公園	㉖ けやき荘
⑧ 西小学校	⑬ 中の宮公園	⑳ 南小学校	㉗ 蕨市民公園
⑨ 北町コミュニティ・センター	⑭ 中央コミュニティ・センター	㉑ 大荒田交通公園	㉘ 塚越小学校
⑩ 北町公民館	⑮ 中央公民館	⑳ 南町コミュニティ・センター	㉙ 武南学園
⑪ 市民体育館	⑯ 市民会館	㉑ 南公民館	㉚ 東中学校

テーマ **2**

防犯

テーマの目標

市民を犯罪から守るため、警察などの関係機関をはじめ、関係団体や地域との連携のもと、市民の防犯意識の向上や防犯組織の活動支援などに取り組み、犯罪を未然に防ぐ地域の環境づくりを進めます。

現況と課題

- 犯罪のない安全な暮らしを多くの人々が望んでいます。わが国では、刑法犯認知件数（犯罪の発生件数）は平成14年をピークとして減少傾向にあるものの、近年では、子どもや高齢者を狙った悪質な犯罪も目立っています。蕨市では、自転車盗や車上狙いなどの窃盗が目立ち、市民1千人あたりの刑法犯認知件数も県内上位であることから、引き続き、防犯対策の強化に努めていく必要があります。
- 蕨市ではこれまで、平成22年4月に「蕨市防犯計画」を策定し、警察や防犯関係団体との連携のもと、防犯講習会や防犯キャンペーンなどにより市民に注意を呼びかけてきたほか、市内全中学生・高校生へ自転車盗難防止ワイヤーロックを配布するなどの防犯対策を実施してきました。
更に、地域の自主防犯組織による防犯パトロールなどへの活動支援を通じ、犯罪のないまちづくりを目指しています。
- 平成25年度市民意識調査では、防犯対策が重点施策の第2位となっていることから、犯罪に関する市民の問題意識の高さがうかがえます。このため、今後も引き続き、警察や地域との連携のもと、特に子どもや高齢者を犯罪から守るとともに、犯罪を未然に防ぐ地域環境づくりに努めていく必要があります。

協働のまちづくり

- ・自主防犯組織との協働により、防犯キャンペーンや防犯パトロールなど、市民を見守る体制づくりを進めます。
- ・地域との協働のもと、明るく安全な公園や道路づくり、ごみや落書きなどの除去に取り組み、犯罪が起きにくい環境をつくります。

関連計画等

- ・蕨市防犯計画（平成22年度～平成26年度）

施策4 地域における防犯まちづくりの促進

主な施策展開

1 市民の防犯意識の向上

- ①広報蕨や市ホームページなどにより、防犯に関する情報を提供します。
- ②自転車盗や振り込め詐欺などの防止を目的とした防犯キャンペーンを通じて、市民の防犯意識の向上を図るとともに、地域などにおける防犯講習会の開催を支援します。

2 防犯組織の活動支援と担い手の育成

- ①自主防犯組織やPTAなどによる、市民の自主的な防犯活動を支援するとともに、その担い手の育成に努めます。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
自主防犯組織を含む防犯ボランティア団体数	49団体	52団体

主要事業等 防犯対策事業（自主防犯組織活動補助金）

施策5 防犯体制の充実

主な施策展開

1 防犯組織の体制整備

- ①警察などの関係機関や防犯関係団体との連携を強化し、情報の共有に努めます。
- ②自主防犯組織による防犯パトロールなど、犯罪を未然に防ぐ活動を支援します。

2 自転車盗難防止対策の強化

- ①自転車盗難防止キャンペーン活動を継続的に実施します。

3 犯罪が起きにくい環境づくり

- ①LED防犯灯などの防犯施設を計画的に整備します。
- ②地域との協働によって、ごみや落書きなどのない明るく安全な公園や道路環境づくりを進めます。

施策指標	現状値(平成24年)	目標値(平成30年)
犯罪発生件数	1,367件	現状値から10%削減
防犯対策の満足度（市民意識調査）5点満点 ※平成24年度の平均は3.02	（平成24年度） 2.94	（平成30年度） 平均以上

主要事業等 防犯対策事業（防犯灯設置等工事）

テーマ **3**

交通安全

テーマの目標

市民を交通事故から守るため、市民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関や団体との連携を強化し、交通事故を未然に防ぐ環境づくりを目指します。特に自転車事故が目立つことから、自転車事故の減少に力を入れていきます。

現況と課題

- わが国の交通事故発生件数は、道路交通環境の整備などにより、平成16年をピークとして減少に転じています。しかし近年では、飲酒運転などによる悪質な事故や自転車の事故によって高齢者が被害にあうケースが目立ち、これらへの対策が急がれています。
- 蕨市の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、自転車事故は減っておらず、交通事故に占める自転車事故の割合が高いという特徴があります。平坦な地形の蕨市では自転車は便利な乗り物であり、市民の移動手段として大いに活用されていることから、自転車事故の多発は大きな問題となっています。
- 蕨市では、警察や交通安全関係団体などとの連携のもと、平成24年3月に策定した「第9次蕨市交通安全計画」に基づいた取り組みを展開し、幼児から高齢者まで世代に応じた交通安全教育を実施してきたほか、仮想事故体験「スケアード・ストレイト教育」*などを展開してきました。
 今後は、地域の特性を踏まえて、自転車事故の減少を最重点課題と位置付け、自転車利用者に対する交通安全教育と啓発を推進するとともに、警察や交通安全関係団体などとの協働による、交通事故から市民を守る体制の強化や交通事故が起こりにくい環境づくりなどを進めていく必要があります。

協働のまちづくり

- ・交通安全関係団体や地域コミュニティ、PTAなどとの協働のもと、交通安全キャンペーンや見守り活動など、市民を交通事故から守る活動を進めます。

関連計画等

- ・第9次蕨市交通安全計画（平成23年度～平成27年度）

施策6 地域における交通安全活動の促進

主な施策展開

1 市民の交通安全意識の向上

- ①広報蕨や市ホームページ、イベントの開催などにより、交通安全啓発活動を展開します。
- ②交通ルールやマナーを周知徹底するため、幼児から高齢者まで世代に応じた交通安全教育を推進します。
- ③自転車事故の防止に向けた取り組みを重点的に展開します。

2 交通安全活動の支援と担い手の育成

- ①地域コミュニティやPTAなどによる、市民の自主的な交通安全活動を支援するとともに、その担い手の育成に努めます。

3 放置自転車対策の推進

- ①民間駐輪場への支援を通じ、駐輪場の確保に努めます。
- ②関係機関との連携により、蕨駅周辺への違法駐輪の解消に向けた取り組みを推進します。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
交通安全教室の開催回数	20回	25回
子ども自転車運転免許講座の実施校数	3校	7校

主要事業等 交通安全推進事業（交通安全意識の向上）、駅前自転車等対策事業



「スケアード・ストレイト教育」による交通安全教室



無灯火ゼロキャンペーン

施策7 交通安全推進体制の充実

主な施策展開

1 警察・交通安全関係団体との連携

①警察などの関係機関や交通安全関係団体との連携を強化し、情報の共有に努めます。

2 交通事故が起こりにくい環境の整備

- ①標識や道路反射鏡などの交通安全施設を計画的に整備します。
- ②地区通学路を計画的に整備します。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
交通安全指導員数	19人	20人
交通事故発生件数(人身)	(平成24年)	(平成30年)
	292件	250件
自転車関係の交通事故死傷者数	125人	100人

主要事業等 交通安全推進事業(交通安全関係団体との連携)、交通安全施設整備事業

◆交通事故(人身)発生状況等の推移

(件・人)

区分	年	平成20年	21年	22年	23年	24年
件数		306	298	327	349	292
死者数		0	1	1	2	0
負傷者数		379	340	385	401	333

安全安心推進課



道路診断を行う蕨市交通安全母の会の皆さん



児童の通学を見守る交通安全指導員



自転車歩行者道

テーマ4

消費生活

テーマの目標

消費生活をめぐるトラブルから市民を守るため、市民の意識の向上を図りながら、相談体制などの充実に努め、消費者被害のない環境づくりを目指します。

現況と課題

- 情報通信技術の進展などを背景として、買い物などの情報やサービスが多様化し、消費生活の利便性が高まった反面、消費者をめぐるトラブルも多発しています。国は、平成21年に消費者安全法を制定し、消費者の保護を推進しています。
- 悪質商法による被害は後を絶たず、その内容も多様化・複雑化しており、特に高齢者が狙われるケースも目立っています。蕨市では、平成21年に蕨市消費生活センターを開設して相談員を配置し、相談体制を整えています。
- 消費者問題への関心が薄く「自分だけは大丈夫」と思っている市民がトラブルに巻き込まれる事態も想定されることから、今後も、引き続き啓発活動を進め、消費者意識の向上を促していく必要があります。また、国や県、関係機関との連携を強化し、消費生活情報の収集と提供や相談体制の充実に努めながら、市民が安全な消費生活を送れるよう、取り組みを展開していく必要があります。

協働のまちづくり

- ・消費者団体との協働により、消費者問題に対する知識の普及を図り、市民を悪質商法などから守る環境づくりを進めます。



蕨市消費生活展

施策8 消費生活の安全確保

主な施策展開

1 消費者意識の啓発と学習支援

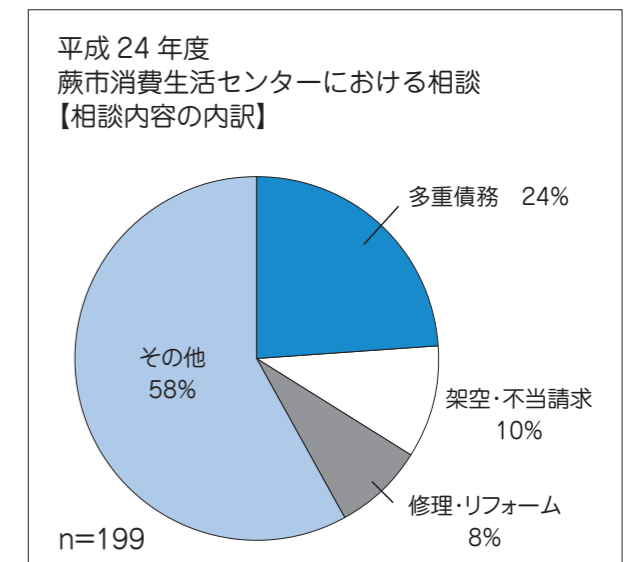
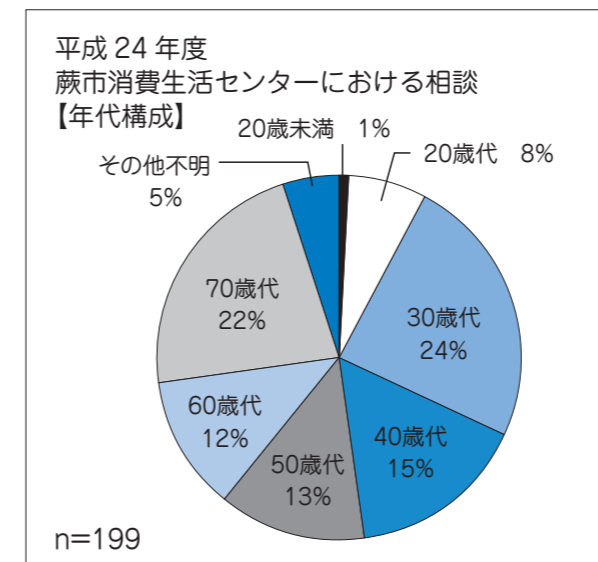
- ①広報蕨や市ホームページなどにより、消費者情報を提供します。
- ②消費者団体との協働による消費生活展を開催します。
- ③地域における消費生活に関する学習会などの開催を支援します。

2 蕨市消費生活センターなど相談体制の充実

- ①国や県、関係機関との連携のもと、消費生活をめぐる最新情報の収集に努めます。
- ②研修会などへの参加を通じ、相談員の専門知識の向上に努めます。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
蕨市消費生活センターにおける相談件数	199件	220件
蕨市消費生活センターの相談件数のうち、経済的・物的被害を受けた件数	48件	25件

主要事業等 消費生活相談事業、消費者啓発事業



商工生活室

テーマ5

消防・救急

テーマの目標

火災や事故、更には豪雨や地震による災害などから市民の生命や財産を守るため、市民の意識の高揚を図りながら、蕨市消防本部・消防署の体制強化と、地域の消防団の充実に努め、消防・救急体制の強化を目指します。

現況と課題

- 東日本大震災など、これまでに起きた災害を教訓とした人々の自然災害や都市災害への関心の高まりに伴い、最も身近な公助としての消防・救急に対する期待が高まっています。
- 蕨市の消防体制は、常備消防である消防本部・消防署を核として、地域の消防団6分団などが担っています。消防本部・消防署は、計画的な資機材の整備による消防力の強化に加え、地域や学校、事業所などを対象とした防災・防火訓練の指導や出前講座の開催などに取り組んでいます。
また、地域の消防団は、地域防災の中心的な組織として、人員や消防資機材、訓練などの充実に取り組んでいます。
- 人口密度が高く家屋が密集しており、かつ、昼間は都内などに通勤する人が多い蕨市にとって、防災対策は重要な課題です。このため今後も、市民や事業所などの防災意識を高めながら、消防本部・消防署の消防力を計画的に強化するとともに、消防団の消防資機材や訓練などの充実に取り組んでいく必要があります。
一方、救急体制については、最新鋭の資機材と車両の導入、救急救命士の人員確保と質の向上などに努めていますが、今後、高齢化などを背景とした救急需要の増加や救急業務の高度化に対応していくためにも、更なる体制の充実・強化が必要となっています。

協働のまちづくり

- ・家庭や学校、事業所、自主防災組織などとの協働のもと、火災を未然に防ぐ環境づくりを進めます。
- ・救急車の適正利用を市民に呼びかけるとともに、バイスタンダー（その場に居合わせた市民）でも応急手当ができるよう、応急手当の基礎知識の普及に努めます。

施策9 地域における防火意識の向上

主な施策展開

1 啓発活動の実施と防火管理体制の強化促進

- ①広報蕨や市ホームページ、イベントの開催、標語の募集やポスターの作成などにより、防火意識の向上に向けた啓発活動を展開します。
- ②学校や事業所などに対して、防火管理体制の強化を促進します。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
住宅用火災警報器設置率	85.1%	100%
市内の火災発生件数	(平成24年)	(平成30年)
	31件	25件

主要事業等 消防・救急活動費（火災予防啓発活動）

施策10 消防体制の充実

主な施策展開

1 常備消防力の強化

- ①消防施設や車両、消防資機材などの計画的な整備と、消防救急無線のデジタル化を推進します。
- ②消火栓や防火水槽などの計画的な整備と耐震化を推進します。

2 消防団などの充実

- ①若者や女性などを対象に、消防団への入団を促進するとともに、車両や消防資機材、訓練などの充実を図ります。

3 連携による訓練などの充実

- ①消防本部・消防署や消防団、自主防災組織が一体となった効果的な訓練を実施するとともに、避難行動要支援者などに関する情報の共有に努めます。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
消防署・消防団と関係機関との合同演習の回数	6回	8回
消防団員の定員充足率	95%	100%

主要事業等 消防・救急活動費（大規模災害対応）、消火栓等整備事業、消防団員活動費

施策 11 救急体制の充実

主な施策展開

1 救急・救命体制の充実

- ①車両や救急資機材などを計画的に整備するとともに、救急救命士の人員確保と資質の向上に努めます。
- ②救急車の利用のあり方について、周知・啓発に努めます。

2 救命講習会参加の促進

- ①救命講習会への参加を促進し、市民の応急手当に関する正しい知識の周知と技術の向上に努めます。

施策指標	現状値(平成24年度)	目標値(平成30年度)
救急救命士の人数	14人	20人
普通救命講習受講者数	228人	300人

主要事業等 消防・救急活動費（応急手当普及活動）

◆災害発生件数の推移

(件)

災害種別	年	平成20年	21年	22年	23年	24年
火災		19	34	18	29	31
救助		69	56	55	73	74
救急		3,186	3,191	3,349	3,573	3,525

蕨市消防本部



普通救命講習会



高規格救急車

